

## 倉田 悟 アソシケシダの最初の発見者

Satoru KURATA : Who is the First Discoverer of *Lunathyrium Otomasui*

KURATA ?

アソシケシダは本誌 9 卷 3 ~ 4 号 (1961 年) の拙報に見る通り、乙益正隆氏の鋭い観察眼によつて世に出た珍羊歯である。しかし、東大理学部で 1938 年に type locality の肥後阿蘇郡久木野村で採集された好標本が、ミヤマノコギリシダのカバー中に蔵されていた。採集者は高松弘氏で、或いは何か疑問に思つてその標本を送られて来たのかも知れない。この標本は 8 月 2 日の採集であるから葉面の毛が殆んど脱落しており、当時うつかりミヤマノコギリシダとして片付けられたらしい。乙益氏も最初にミヤマノコギリシダと比較してその特徴を報せて下さつたのだが、他のシケシダ類より硬い葉質と羽片の形が一見ミヤマノコギリシダに似ている。しかし実はシケシダ属 (*Lunathyrium*) の 1 種である。高橋氏は熊本師範学校に所属されていたらしいが、現在はどうされているだろうか。20 年間に、アソシケシダのこの貴重な採品が眠っていたことはまことに残念であつた。尚、久木野村清水寺の広い境内にかなり豊産する本種が、未だ他所に発見されないことはちよつと不思議である。